

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	鈴木ヘルスケアサービス (株)	代表者	鈴木 則成	法人・事業所の特徴	ご利用者の地縁を守り、慣れ親しんだ地域・居場所で生活を続けられるようお手伝いします。ご本人の思いや願いに寄り添い、24時間365日「その人らしい暮らし」を支え、「通い」「訪問」「お泊まり」の3つの基本サービスを組み合わせご利用いただけます。また、どのサービスにおいても、顔馴染みのスタッフがサービスをご提供するため、知らないスタッフが急に自宅に来たなどという不安もなく、安心してご利用いただけます。
事業所名	小規模多機能ホーム 鈴の郷	管理者	辻 加代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	4人	1人	6人	人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報収集をしっかりと行ってから話合いの場をもっと持つ。最初のご利用になるまでにプランの作成をしておく。	情報共有はケース会議で出来ているが新規のご利用者様の情報収集がプランに繋がっていない。	特になし	引き続き今後もケース会議を定期的に行いミニミーティングでもしっかり記録に落とししていく。利用者の体調、環境の変化を見落とさない取り組みを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍ですが季節の花の植え替えや花壇等の整備を行い地域の方が入り易い環境を整える。	季節の花の植え付けなど花壇等の環境整備を行い地域の方が気楽に寄って頂ける駐車スペースを確保します。	特になし	コロナ禍の中ですが環境を変えることなく密にならないようテーブルの配置など配慮し引き続き感染対策に努める。また施設廻りの整理整頓に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍の中ですが運営推進会議（書面）を引き続き行いながら情報の共有、交換を行います。	運営推進会議（書面開催）を行い地域の方との意見交換を行っています。	特になし	花まつり、宿場まつり等コロナ禍が落ち着けば参加させて頂きたいと考えています。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括の対しもっと情報をいただけるよう申請していく。地域包括や自治会、民生委員の方との連携を密にする。	利用者様がお住まいの各地域の自治会長、民生委員、ご近所の方との連携に取り組んでいます。	特になし	引き続き各地域の方との途切れることのない連携を図り地域に出向けるような提案をしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方と接する機会が少ないが今後も出来る範囲で家族、地域の方との交流連携を継続して行う。	現在は書面開催ですが皆様から貴重なご意見を頂いています。	特になし	コロナ禍のため書面開催での活動報告を行っていきます。サービス評価のテーマを分けての検討会議を実施する。

F. 事業所の 防災・災害対策	専門職の方々の研修会開催は引き続き厳しい環境ですが社内、外の研修（W e V）に積極的に参加していく。	コロナ禍のため研修会等開催が来ていませんが事業所としての通報消火訓練をご利用様と一緒に実施させて頂きました。 地域の方との交流は来ていません。	特になし	事業所の防災計画書の作成避難訓練の実施など継続して行う。
--------------------	---	--	------	------------------------------